禅の心

第176号
令和3年　秋号
発行　安住寺（年4回）
臨済宗南禅寺派
〒873-0002
杵築市大字南杵築379
Tel　0978-62-2680
Fax　0978-62-3980
http://www.anjyuji.net
編集責任　矢野明玄

安住寺第十五世玄海禅聰禅師の遺徳をしのぶ

玄海和尚様が遷化されたのは昭和四十七年十二月五日。私の生まれる前で、生前のことは詳しく知りませんので、皆様にも五十遠年忌にあたり遺徳をしのびお伝えしたいと思います。

俗称は金石太六といい明治二十七年十二月十日、大分県西国東郡三浦村のお生まれで、明治三十七年に安住寺第十三世梁州和尚様に就き八歳で得度されています。大正三年から大正十四年の間、聯合般若林・花園臨済大学選科・大徳寺専門道場・正眼寺専門道場各所で修業をされました。大正十四年十一月二十一日に安住寺副住職となり、昭和十四年三月十七日に安住寺住職となりました。途中、昭和八年三月から昭和十二年十一月までの四年九か月は、兵庫県姫路市網干の龍門寺住職を務めておりました。

南禅寺派の役職を歴任するほか、安住寺住職になられてからは雛僧教育をされ多数の小僧を指導し、安住寺で青年学校を主催するほか、市仏教会会長・民生児童委員・保護司などを務め地域社会にも貢献されました。残念なことに六十代半ばに脳梗塞を患い、晩年は法務を務めるのが精いっぱいのようでした。

戦前戦後の大変な時代を、護持に尽くされた玄海和尚様の遺徳をしのび、報恩の念新たに、五十回忌をお勤めいたします。

【三先師合同法要ご案内】

玄海和尚50回忌・月叟和尚300年忌・中興三室和尚350年忌を下記にて執り行いますお参りください。

日時　・令和3年11月9日（火）
　　午前11時より

場所・安住寺本堂

導師 万寿寺・佐々木道一老大師

法要会費・五千円（御仏前・記念品・お弁当）

※市内で参列を希望される方は、地区世話人様を通してお申し込みください。市内地区外、市外で参列を希望される方はお寺に直接ご連絡ください。

中央腰を下ろされている方が、玄海和尚様
二列目右隅、閑栖和尚　左隅、植木文蔵氏

敬老者の皆さん　ご長寿おめでとうございます！

令和3年度　長寿番付表　安住寺敬老場所

東	年齢	住所	御免蒙	西	年齢	住所
田代ハツコ	103	城山	横綱	阿部ヤエ子	101	弓町
古田初子	100	西大内山	大関	平野芳彦	99	南台
麻生秀子	99	藤の川	同	阿部睦子	98	西大内山
柏屋小夜子	98	宗近	関脇	藤原ユリコ	97	東大内山
井上恵美子	96	東大内山	同	田椽美智子	97	南台
田辺コウ	96	広島市	同	阿部ノブ子	96	西下司
土肥妙子	96	永代橋	小結	麻生博行	96	藤の川
江藤モリ子	96	東大内山	同	上美枝子	96	座間市
小玉和江	95	杉山	同	須賀悦子	95	杉山
清末鈴子	95	東大内山	前頭1	須賀ミヤ	95	東下司
荒巻ミヨ	95	西上	前頭2	岩口花子	94	守末
原ヨシ子	94	煙硝倉	前頭3	二宮しん	94	猪尾
麻生義子	94	藤の川	前頭4	藤原ヒサ子	94	西大内山
川上浩	93	宗近	前頭5	麻生恵美子	93	中平
宗田初子	93	東下司	前頭6	諸富タマ	93	西下司
八坂周子	93	杉山	前頭7	諸冨サヨ	92	別府市
渡邊チカ子	93	西下司	前頭8	河内辰馬	92	新興
廣石フサエ	92	宗近	前頭9	加藤マサ子	92	西下司
是久和子	92	西下司	前頭10	秦エミ子	92	南台
藤原常一	92	西大内山	前頭11	上園ナミ子	92	東大内山
吉田八重	92	永代橋	前頭12	藤原和子	91	西大内山
麻生トキ	91	藤の川	十両1	藤原サト	91	西大内山
土谷岩治	91	天満	十両2	木付幸子	91	大分市
山本治	91	大分市	十両3	下原正徳	91	東下司
藤原定喜	91	行橋市	十両4	大石勝子	91	魚町
綾部昇吉	91	谷町	十両5	阿部榮藏	91	大分市
廣石須美	91	東下司	十両6	是久義則	91	杉山
渡邊健治	91	福岡市	十両7	安部草平	91	南台
矢野エミ	91	中平	十両8	川上シゲ子	91	宗近

今年は大分県内の100歳以上の敬老者が、初めて1000人を超え1091人となったと発表がありました。毎年続けています安住寺の長寿番付ですが今年新たに番付入りされた方は4名のみです。
さて、下のお写真は東の大関になっています、市内西大内山の古田初子さんが、市長からお祝いを贈呈された時のもの。（杵築市広報より）

先日、古田家へご法事でお伺いしましたところ、初子さんにお会いすることができました。お話を伺えば、食事もよく召し上がられるし、何より頭がしっかりしているとのこと。お孫さんや家族皆さんの生年月日を記憶し、誕生日が近くなるとお祝いを準備したり、電話で連絡をされるとか。残念ながら、コロナ禍で親族皆さん集まってのお祝いは出来なかったそうですが、皆さんきっと喜ばれていることと思います。

本年度も安住寺合掌会による敬老会は中止となりましたが、敬老者の皆様には心よりお祝い申し上げるとともに、益々お元気でお過ごしくださいますよう、願っております。

古田（ふるた）　初子（はつこ）さん（西大内山）が満100歳に

君看よ双眼の色

敬老の日が過ぎましたが、南禅寺の管長を退任された中村文峰老師は今年九十一歳を迎えました。弟子としても長寿で嬉しいことです。修行中に文峰老師の隠侍として仕え、色々とお話が伺えました。

お母様のお話を思い出します。九十歳でお亡くなりになっています。修行道場の師家になられ大接心（集中修業期間）や法務で忙しい最中にお母様は亡くなりになったそうですが、お母様との約束を守り、死に目に会うことはなかったと伺いました。

文峰老師の著書の中にその約束が、詳しく書かれてあったので一部抜粋します。

「あなたは手巾という水引を締めて仏様に差し上げた人である。私が危篤でも帰ることはない。修行僧の育成や公式の約束は優先しなければなりません。・・・・・」と約束されていたそうです。

お母様の体調不良の知らせを受けた、翌朝の朝課中に亡くなられたとのこと。亡くなった日も公務があり、済まされた後に、何とか葬儀には駆け付けたと伺いました。

一人で亡き母の待つ故郷に向かう列車の中で、白隠禅師『槐安国語』の句を思いながら母親の死の実感が込み上げたといいます。

「君看よ双眼の色　語らざれば憂い無きに似たり」

（私の眼の中を見てください。表面上何の変化もないように見えるが、深い悲しみと憂いの涙で一杯です）

水引を締めて仏様に差し上げた身といえども、文峰老師がお母様を思われていた気持ちがよくわかります。

さて、コロナ禍になってからはどうでしょう。施設や病院に入り、最後の看取りができない話を聞きます。また、葬儀やご法事もやむを得ず、こじんまり少人数でお勤めされる方もあります。葬儀やご法事は、憂いや悲しみを抱いた方の癒しとなる大切なものです。

まだまだ以前のような日常は先のようですが、大切な方を思う心、念ずる心は常に持っていたいものです。

君看よ双眼の色」の句を使った相田みつをさんの詩をご紹介します。

『憂い』

むかしの人の詩にありました
君看よ双眼のいろ
語らざれば憂い無きに似たり
憂いがないのではありませんか
悲しみがないのでもありません
語らないだけなんです
語れないほどふかい憂いだからです
語れないほど重い悲しみだからです
人にいくら説明したって
全くわかってもらえないから
語ることをやめて
じっとこらえているんです
文字にもことばにも
到底表せない
ふかい　憂いを
おもい　かなしみを
こころの底ふかく
ずっしりとしずめて
じっと黙っているから
まなこが澄んでくるのです
澄んだ目の底にある
ふかい憂いのわかる人間になろう
重いかなしみの見える眼を持とう
君看よ双眼のいろ
語らざれば憂い無きに似たり
語らざれば憂い
無きに似たり

みつを

《月 例 行 事》

座禅会
9月25日（土）
10月より6:30～
10月9日（土）
10月23日（土）
11月13日（土）
11月27日（土）
12月11日（土）納会

写経会
10月27日（水）
11月24日（水）
12月21日（火）納会

感動をありがとう

平成31年の春彼岸号に、競泳の池江璃花子選手が白血病になったことを記事にした。この夏の東京オリンピックで彼女は４００mリレーで決勝に舞台に立った。レース後「本当に幸せ」とコメントした。彼女の姿から、沢山の方が感動と喜びを貰った。問題や賛否のあったオリンピックであったが、純粋に競技に臨む選手の姿は美しく素晴らしい！絶え間ぬ努力を続けてこられた選手たちに改めて、感動をありがとう!!

《日々是好日》

★八月三日、山門施食会・昨年に続いて法要のみのお勤めとなりましたが四十名の方がお参りくださいました。★八月七日～十五日、棚経参り。今年は長男が部活の予定などで手伝いが出来ませんでしたが、三年生になった次男三男がお参りを手伝いました。一日数件は二人に任せお勤めしましたが、何とかお経は読めたようです。優しく見守ってくださった方々に感謝申し上げます。★例年お盆号の時期に、護持会費と境内墓地管理料の納入をお願いしております。色々と出費が嵩む折に、ご協力いただき心よりお礼申し上げます。市外、県外の方もお振込み頂き感謝申し上げます。★八月は月例行事をお休みしていましたが、九月より再開しております。坐禅会・写経会等、ご参加お待ちしております。★九月七日、合掌会役員会。敬老会中止によるお祝い品配布。バザー中止確認。奉仕作業は合斎会前の、十月二十二日（金）を予定しております。法要に向けて障子の張替えもおこないます。ご協力お願い致します。★九月十六日、南禅寺派部内研修会。★十月三日、貴布祢神社大祭★十一月三日（文化の日）別紙予定でお寺でコンサートを行います。★ワクチン接種も進んできましたが、まだまだ感染のリスクがあります。お寺での行事も十分感染対策を行って開催します。ご理解の程お願いいたします。

合掌